

～学校給食が生徒の夢を育み、

その夢を実現する大きな力に～

北海道高等学校給食研究協議会 会長 高橋 豪
(北海道札幌琴似工業高等学校長)

皆様におかれましては、日ごろから定時制課程学校給食の充実と給食運営上の諸課題の解決を目指し多大なご尽力をいただいていることに、感謝申し上げます。

今年1月より中国湖北省武漢市を中心に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が発生し、瞬く間に世界中に流行し、未だ終息が見えません。感染拡大に伴い、学校にとって1年の節目となる3月から5月に臨時休業が続き、生徒たちをはじめ、保護者の皆様や学校関係者にとっては、不安な日々を過ごされたことと思います。

本会も、例年5月に開催していましたが総会を書面による審議とし、会員の皆様から承認をいただきました。また、夏休みに開催しております研究協議会北海道大会は、新型コロナウイルス感染症の拡大を考慮し開催することが叶いませんでしたが、旭川北高等学校加瀬谷嘉延教頭先生に作成していただいた『給食室での様子から、生徒の「変化」を知る』をテーマにした研究報告書を本会HPと冊子にして各学校に配布させていただくことにしました。

研究報告書には、給食時の生徒たちの様子について、給食調理員さんからの情報や給食カードの提出状況からわかった生徒の変化を読み解くことで、生徒の生活状況や心身の変化を生徒の見守り指導に生かすなど、給食調理員さんと教職員が連携した指導事例であり、各会員校でも活用できる貴重な報告であると思います。

最後になりますが、新型コロナウイルス感染症には今後も長期的な対応が求められますが、定時制に通う生徒たちがこれからも心身ともに健康な生活を送ることができるよう各学校で適切な支援をしていかなければならないと考えます。学校給食事業を通して、定時制に通う生徒の多くの困難の解決と、心身ともに健康で健やかな成長が図られることをご期待申し上げますとともに、今後とも本会の活動にご支援とご協力をお願いいたします。